

# 子どものオンラインゲームの トラブルに注意



## 【事例】

小学生の息子が、母親のスマートフォンでオンラインゲームをしていた。後日クレジットカード会社から身に覚えのない15万円の請求があったので、息子に確認すると、「ゲーム内の有料アイテムが欲しくなったので、購入するというボタンをタップした。」と言われた。クレジットカード会社にキャンセルできないか相談したら、請求元のゲーム販売会社に相談するよう言われた。

## 【アドバイス】

- ◆この事例では、小学生の息子が課金してしまった事をゲーム販売会社に伝えて相談するよう助言しました。後日、「今回に限って請求を取り下げると回答され解決した。」と相談者から報告がありました。
- ◆子どもがクレジットカードやキャリア決済、電子マネーなどでゲームの課金をしてしまった場合、管理責任を問われ返金に応じてもらえないこともあります。決済手段の管理には十分注意しましょう。
- ◆インターネットに接続できる機器を子どもが使用する場合は、保護者が子どもの使用する機器を管理するペアレンタルコントロールや、不適切なサイトやアプリをブロックするフィルタリングを活用しましょう。



子どもがインターネットを利用するときは、  
ペアレンタルコントロールやフィルタリングを  
活用しておくワン!